

## 2020（令和2）年度事業報告書

（事業活動の状況の概要及びこれに関する数値のうち重要なものを記載した書類）

自 2020（令和 2）年4月 1日  
至 2021（令和 3）年3月31日

公益社団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム

## 目次

1	事業業績の概要	p. 2
2	自己点検・評価結果	p. 4
	(1) 公益目的事業の評価	p. 4
	(2) 収益事業の評価	p. 6
	(3) 法人の管理運営	p. 7
3	公益目的事業の業績	p. 8
	(1) 教育学習事業：多彩な学びの場を市民に提供する事業	p. 8
	(2) 人材育成事業：まちづくりの担い手を育成する事業	p. 14
	(3) 地域発展事業：生活・文化・福祉・産業の発展に寄与する事業	p. 20
4	収益事業	p. 26
5	管理運営	p. 27

---

## 1 事業業績の概要

---

法人化後11年目を迎えた本法人は、2019年度から2021年度までの3か年間で「再構築による進化期」と位置付け、本法人の設立目的に立ち戻り、各事業の点検や見直しを行いながら、社会のニーズを先取りした事業が展開できるように、安定的な組織運営体制の整備に取り組んだ。しかし、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、事業の中止・延期、又は実施形態の変更を余儀なくされた。また、相模原市立市民・大学交流センター（以下センター）の指定管理業務についても、休館や開館時間の短縮などの措置を講じたことで、一部の自主事業を除き多くの事業を中止せざるを得ない状況となった。

教育学習事業では、「さがまちカレッジ」において、加盟機関の専門性を活かしながら、市民が快適で充実した生活を送るための講座51講座を企画し準備を進めたが、実際に開講できたのは8講座のみであった。一方、コロナ禍に対応する生涯学習機会の創出に取り組んだ。「相模原市・座間市 市民大学」においては、すべての講座が中止となった。センターで開催した「オーサーズカフェ」は、緊急事態宣言の期間中は全て中止としたが、開館中は感染拡大の状況を注視しながら可能な限り実施し、平均17.2人、総数223人の市民がさまざまなジャンルのトピックを聴講した。教育学習系の事業については根強い人気と、安定的な満足度を収めている。

人材育成事業では、「キャリア支援4STEPプログラム」、「さがまちインターンシップ」の全てのプログラムを中止した。まちづくりの担い手の育成を目的とした「さがまち学生Club」は、ほぼWEBでの活動となったが、24人の学生がコロナ禍でも可能な活動に取り組んだ。

地域発展事業では、「学生映像制作」においては番組制作として、6大学、13チームが参加し、映像制作の技術の向上とともに、地域に対する理解を深めることができた。いずれの作品も完成度が高いとの外部評価を受けている。CM・PR動画制作については中止とした。「地域情報誌制作」では、学生の視点で企画から取材、執筆をする「情報誌さがまち」のWEB版を制作し地域の魅力を発信した。

会員については、正会員は新たに大学2校、公益法人1団体、企業1社が入会し、35機関、賛助会員は新たに法人等1団体と企業2団体が入会、株式会社1社が退会し、計10機関、会員総数は45機関である。役員については、理事 佐々木勝洋に代わり、理事（副会長）深井ふみ子が代表理事に選定された。役員の現員は理事6人、監事2人である。

管理運営については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、可能な範囲でテレワークの導入を進めるとともに、自宅待機（休業）を計画的に実施した。

センターについては、第3期（平成31年度～令和3年度）指定管理者として、センターの目的である市民と大学の橋渡しや、研究機会の提供に従事した。神奈川県下に発出された緊急事態宣言に伴い、4月～6月と1月～3月の間、施設を休館した。一方、コロナ禍においても要員配置も含めた施設運営の改善と、WEB会議システムを活用するなど、実施方法の見直しを行うことで可能な限りセンターのプログラムを実施することができた。さがみはら地域づくり

大学の運営については、開始時期をずらし、一部の講座を組み替えて実施した。センターの職員については、指定管理業務を行う要員を中心に、逐次補充、配置を行った。

収支予算については、収入 116,303 千円（前年度比 98.2%）、支出 116,222 千円（前年度比 98.2%）を計上し、収支差額は 80 千円とした。

財政構造については、収入の 21.9%を受託事業費が占めており、その割合は、昨年度に比べ 1.3%であった。昨年度の地方公共団体補助金が占める割合は 2.1%であったが、今年度は 1.7%となった。また、収入の 65.0%は指定管理料収入及び施設等利用料収入が占め、会費収入の割合は昨年度と同じ 4.7%であった。受託事業費が占める割合が増加したが単年度の事業が多いため、引き続き会費収入及び、受託事業費収入の拡大を図ることで安定的な財源を確保し、健全な財政基盤の確立に努めていく。

## 2 自己点検・評価結果

公益目的事業について、事業計画において設定した目標値に対する達成状況や取組実績に対して自己点検と評価を行った。収益事業については、実績とその評価を付記し、法人の管理運営については、実績を付記した。

今回の評価結果は、2020（令和2）年度事業計画における目標値に対する評価である。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を中止した事業については、本法人の責めに帰すべき事由ではないため評価は記載しない。また、評価「C※」の記載については、同様の理由により規模を縮小して実施したことによる。

### ◇評価基準

- S：目標を超えて達成されている
- A：目標が達成されている
- B：目標がおおむね達成されている
- C：目標の達成が不十分である
- D：目標がほとんど達成されていない

### (1) 公益目的事業の評価

#### ア 教育学習事業

プログラム名	事業計画における目標値	取組実績	評価
さがまちカレッジ	講座数：45 講座 受講者数：1,500 人 理解度・満足度：80%	講座数：企画 51 講座、実施 8 講座 受講者数：80 人 理解度：89%、満足度：92%	C※
相模原市・座間市 市民大学	講座数：28 講座 受講者数：1,200 人 理解度・満足度：80%	講座数：企画 22 講座 全講座中止	-
センター・オーサ ーズカフェ	講座数：24 講座 参加者数：960 人 満足度：80%	講座数：13 講座 休館により 11 講座中止 参加者数：223 人 満足度：100%	C※
センター・ユニコ ムセミナー	必要に応じて実施	実績なし	-

#### イ 人材育成事業

プログラム名	事業計画における目標値	取組実績	評価
キャリア支援 4 STEP PROGRAM	社会情勢に沿ったプログラムの再構築を検討	キャリア支援プログラムの再構築に向けて、大学・企業等へのヒヤリングを実施。	C※
子ども社会体験推 進	子ども起業体験：1 回 参加児童数：30 人 満足度：80%	一律中止	-
さがまちインター ンシップ	受入先：11 件 参加学生満足度：80%	一律中止	-
さがまち学生	参加学生数：30 人	参加学生数：6 大学、24 人（企画	A

Club	学生企画数：10 件 参加学生満足度：80%	参加学生数延べ77人) 企画数：15 企画 満足度：100%	
町田市 まこちゃん教室	教室開催数：36 回 課外授業数：4 回	教室開催数：32 回 課外授業数：2 回 受講生徒数：51 人 学習支援員：7 大学、23 人	A
センター・さがみ はら地域づくり大 学	講座数：15 講座 申込者数：40 人 理解度：80%	講座数：15 講座（一部中止あり） 申込者数：コース申込者 15 人（他 に、講座単位の申込者 119 人・延 べ人数） 理解度：90%	B

#### ウ 地域発展事業

プログラム名	事業計画における目標値	取組実績	評価
学生映像制作	映像 参加チーム：12 チーム 作品数：12 本 CM・PR 参加チーム：8 チーム 作品数：4 本	① 番組制作 参加チーム数：6 大学、13 チーム 作品数：13 作品 ② CM・PR 動画制作 一律中止	B
地域情報誌制作	参加学生数：30 人 年間発行回数：1 回	参加学生数：7 大学 24 人 年間発行回数：オンライン上にて 1 回発行「さがまち vol. 26」	B
地域情報発信	HP アクセス数：50,000 件 更新数：80 件	HP アクセス数：25,000 件/年（対 前年比 46%減） 更新数：66 件/年（対前年比 6%増）	C※
センター・市民・ 大学協働フェスタ	まちづくりフェスタ：1 回 参加者数：2,000 人 参加団体数：50 団体 ユニコムサミット：1 回	①まちづくりフェスタ およそ 1 カ月の展示会を開催 参加団体数：36 団体 ②ユニコムサミット 臨時休館により 5 月に延期	C※
センター・市民・ 大学交流会	開催回数：6 回 参加者数：120 人	開催回数：3 回 臨時休館により 3 講座中止 参加者数：21 人	C※
センター・市民と 大学との橋渡し	利用者交流会：12 回 相談件数：100 件 連携実績件数：25 件 満足度：80%	利用者交流会：9 回開催 相談件数：102 件 連携実績件数：28 件 満足度：90%	A
センター・情報誌 発行	月 1 回発行(3,000 部) 理解度：80%	発行：11 回/年間 発行部数：2,500 部 相模原市内の 217 か所に配布 理解度 80%	A
センター・団体登 録	登録団体数：40 団体(対前 年比 133%増)	登録団体数：40 団体	A
センターホームペ ージ運営 (C)	HP アクセス数：300,000 件 (前年並)	アクセス数：191,346 件	C※

(2) 収益事業の評価

取組み	事業の主な内容	実績	評価
センターの施設等の管理運営事業 (収益事業)	<p>この事業は、一般市民などがセンターの施設等を利用するにあたり、相模原市条例に定める適正な料金のもとに次のサービスを提供し、利用者の便宜を図る。もって公益目的事業の推進への寄与を目指す。</p> <p>①シェアードオフィス運営支援 (NPO や企業などが市民活動、地域貢献活動の拠点として利用するシェアードオフィス(共用貸事務所)の利用者有料支援)</p> <p>②会議室等の貸し出し(セミナールーム、ミーティングルーム、AV スタジオ、実習室、情報コーナー、マルチスペースの有料貸し出し)</p> <p>③備品等の貸し出し(機械、映像機材、各種ソフト、備品の有料貸し出し)</p> <p>④利用者サービス(コピーサービス(有料)、無線 LAN (Wifi-Spot) (無料))</p>	<p>①シェアードオフィス利用者運営支援 利用者数：15 団体・個人 (令和 3 年 3 月 31 日現在)</p> <p>②会議室等の貸し出し 一般利用者数：38,090 人 利用率：58.5%</p> <p>③備品等の貸し出し</p> <p>④利用者サービス コピー機：2 台設置 (有料) 無線 LAN 設置 (無料)</p>	C※

(3) 法人の管理運営

内容	計画	実績
役員等の体制の整備	1. 役員体制の整備	1. 監事の辞任に伴う補充の監事 1 人の選任 (1 月) と代表理事の交代に伴う新たな代表理事の選定 (3 月)
指定管理施設運営体制の整備	1. 円滑な施設管理運営 2. 管理事務室職員の採用	1. 相模原市への定例報告 (毎月 1 回) 2. 嘱託職員の退職により 2 人を採用 (7 月、2 月) 3. 臨時職員 2 人を採用 (1 人はリエントリー制度による)
事務局体制の整備	1. 教育・研修の実施	1. 全員に対する接遇研修及び防災訓練の実施 (2 回)
情報公開の促進	1. 法令の遵守 2. 透明性の確保 3. 会員等の利便性の向上	1. 法定事項を公表 2. 議事抄録等を公開 3. 全規程を公開

### 3 公益目的事業の業績

魅力あふれる地域社会の創造への寄与を目的とする、教育学習事業、人材育成事業、地域発展事業

#### (1) 教育学習事業

##### ア さがまちカレッジ

加盟機関の専門性を活かしながら、暮らしに役立つ知識や社会的な課題の解決に向けた身近な話題をテーマに講座を開講した。

実 績	
期 間	通年（Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期、こども体験講座）
講 座 数	10 プログラム 11 講座（延期 3 講座を含む）（企画：45 プログラム、51 講座）
定 員 数 等	定員数：179 人（1,284 人） 申込者数：183 人 受講者数：80 人
内 容	「快適で充実した生活を送るための学び」をコンセプトに、暮らしに役立つ話題や生活を豊かにする情報、知的好奇心を満たす学術的知識、社会的な課題解決など様々な切り口で各大学等において講座を企画した。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、開講は7プログラム8講座にとどまった。会場を利用する対面形式の講座は全て町田市生涯学習センターとの協働の下、同センターを会場として実施した。また、さがまちカレッジから地域の皆様に「学び」を発信する新しい形として『うちで学ぼうプロジェクト』を立ち上げ、「わたしの一冊・わたしの一本」「Online Learning Information さがまち加盟機関のオンライン学習情報」「さがまち web カレッジ」の3つのプログラムに取り組んだ。
自 己 評 価	コロナ禍において、実際に開講できた講座は少数にとどまったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のガイドラインを作成し、感染予防に努めながら講座を安全に実施することができた。また、さがまちカレッジから地域の皆様に「学び」を発信する新しい形として『うちで学ぼうプロジェクト』を立ち上げ、3つのプログラムに取り組んだ。1つ目は、さがまちカレッジ講師が推薦図書・映像作品を紹介する「わたしの一冊・わたしの一本」で、7月に子ども対象19作品、10月に一般向け21作品を法人ホームページやフェイスブックに掲載した。2つ目は、加盟機関が発信している自宅学習の手引きになるような情報を紹介する特設ページ「Online Learning Information さがまち加盟機関のオンライン学習情報」を開設し19件掲載した。3つ目は、オンライン講座「さがまち web カレッジ」で3講座企画し、2月に1講座開講した。しかしながら、企画した講座の2割弱しか実施できなかったため、「C」と評価する。
課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の生涯学習の場として、より多様な地域市民に関心を持たれるようになるため、受講者のアウトカム評価や関心を分析し、講座を拡充する。</li> <li>・コロナ禍においても受講者の満足度の高い講座を提供できるよう講座形態の多様化を図る。</li> </ul>

会議等	さがまちカレッジプロジェクト会議 開催日：2020年11月13日 書面による実施 2020年8月26日、2021年2月19日
収支	受講料収入に加え、会費収入及び町田市負担金の一部を充当
実施の様子	  

### 1) 開催講座実績

	講座名	開催日	提供団体	受講者数
1	黄金比ってなあに？—かたちの美しさと数の比のお話とレッスン※	10月17日	女子美術大学	15人
2	ハンドベル講座～天使のハーモニーを楽しむ～※	11月22・29日	玉川大学	16人
3	【webカレッジ】薬学と健康と社会の接点—「診断」、「感染症」、「生薬」、「検査」の概説—	11月24・25・26日・12月1・2・4日	昭和薬科大学	中止 (最少催行人員未達)
4	【学生講師プログラム】イラストをエコバックにうつしてみよう(14時コース)※	11月28日	東京造形大学	2人
5	【学生講師プログラム】イラストをエコバックにうつしてみよう(15時コース)※	11月28日	東京造形大学	3人
6	気を巡らせて“ぼかぼかな体”づくりを目指しましょう！3※	12月10日	相模女子大学	14人
7	【webカレッジ特別講座】はじめてのZoom®～楽しく使ってみよう！！～	2月17日	和光大学	19人
8	日本画の古典技法を学ぶ—絹に描いてみましょう※	3月27・28日	女子美術大学	11人
9	作品鑑賞を楽しみましょう—自分らしく絵の世界を味わうために—※	4月以降に延期	女子美術大学	(13人)
10	パーソナル・ミニドキュメンタリー映画をつくろう～身近な“あの人”の声なき声に、カメラで耳を澄ます～※	4月以降に延期	東京造形大学	(8人)
11	美ってなんだろう？—美学の世界へご招待—	4月以降に延期	女子美術大学	(16人)

・※町田市生涯学習センターとの連携講座

・(人)は受講決定者数

2) 企画講座実績 (コロナウイルス感染の影響等により中止)

	講座名	提供団体
1	【web カレッジ】身体美の科学- 魅力的な容姿や身体運動に法則はあるのか? -	青山学院大学
2	動物福祉に配慮した畜産食品の広がり-食の安全と動物福祉-	麻布大学
3	進化を学ぼう! 頭蓋骨ペーパークラフトでヒトと類人猿の違いをみてみよう	麻布大学
4	【学生講師プログラム】味覚サイエンス! 本格出汁をつかって親子で健塩 (すこしお) マイスター!	麻布大学
5	作って遊ぼう! 牛乳パックの船	和泉短期大学
6	フラッグフットボールにチャレンジ!	桜美林大学
7	相続を争族にしないための基礎知識~民法改正を踏まえて~	桜美林大学
8	【さがまち地域学】養蚕村から政令市へ-相模原の近現代-	桜美林大学
9	北里柴三郎の業績-見えざる敵、伝染病との戦い-	北里大学
10	くすりの玉手箱~スパイスのひみつ~ (午前コース・午後コース)	北里大学
11	水族館の仕事 -北里大学海洋生命科学部 夏の体験講座- (午前・午後コース)	北里大学
12	電子書籍出版のススメ	相模女子大学
13	宇宙機データ利用講座~日本の月探査機 SELENE/かぐやのデータを使ってみよう~	相模女子大学
14	月を知ろう-セレーネ計画からウズメ計画へ-	相模女子大学
15	大人のための絵本講座~絵本を知る、感じる、楽しむために~	相模女子大学
16	【Play is Play ♪~劇は遊び】英語のことわざとチャンツで創作☆英語劇を楽しもう!	相模女子大学
17	オリジナルのうちわを作ろう-クリアファイルを使って-※	相模女子大学
18	折り紙染めでエコパックを作る※	相模女子大学
19	親子で楽しむ点字の基礎-六つの点で何でも書ける!-	相模女子大学
20	親・子・孫で楽しむ「スポーツスタッキング入門」~楽しく「体」「心」「頭」を鍛えよう~	相模女子大学
21	【相模原市発達障害支援センター共催】 【特別講座】インクルーシブセミナー-いくつでも、誰でも、共に学びを楽しもう!~若者も、高齢の人も、障害のある人も~	相模原市/相模女子大学
22	中学生のための初級薬学講座 ~薬の秘密を確かめよう~	相模原市薬剤師会
23	【特別講座】あなたの健康法、ホントに効くの?~現代の養生訓を考える~	相模原市薬剤師会
24	Kids English in SALESIO	サレジオ工業高等専門学校

25	作品とポスターから読み解く女子美術大学美術館の歩み	女子美術大学
26	藍の抜染技法を使ってトートバッグを作りましょう※	女子美術大学
27	写真という画像の不思議な魅力にせまる！ーピンホール・カメラ作りを通してー	女子美術大学
28	デッサンから学ぶ日本画※	女子美術大学
29	自然や絵画の中のカタチでフロッタージュ創作！（午前・午後コース）	女子美術大学
30	絵のなかのどうぶつたちが教えてくれる絵心ー色やかたちの自由さと“どうぶつらしさ”ー	女子美術大学
31	楽しく歌って 笑顔！健康！元気！～春コース～※	玉川大学
32	ハンドベル集中講座～天使のハーモニーを楽しむ～※	玉川大学
33	竹馬を作って遊ぼう！	東京家政学院大学
34	ロボットプログラミングを楽しもう！（午前コース・午後1コース・午後2コース）	町田新産業創造センター
35	【学生講師プログラム】 楽しく環境を学ぼう in 鶴見川ー川で学ぶ身近な自然ー	和光大学

・※町田市生涯学習センターとの連携講座

#### イ 市民大学（相模原市及び座間市教育委員会委託事業）

高等教育機関の機能を活用し、社会が抱える諸課題と市民の学習ニーズに基づく入門的・継続的な学習機会を提供した。

実 績	
期 間	通年（前期、後期）
講 座 数	12 コース、22 講座（全講座中止）
定 員 数 等	定員数：1,009 人
内 容	前・後期とも講座は全て中止となった。参加校へのオンライン講座実施の意向調査ならびに令和元年度受講者のうち 200 人を対象にインターネット環境及びオンライン講座の受講希望等についてアンケートを実施した。
自 己 評 価	新型コロナウイルス感染の影響により全講座が中止となった。新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、次年度に市民大学を実施する方法としてオンライン形式の講座を委託者と共に検討した。具体的には、参加校へのオンライン講座実施の意向調査ならびに令和元年度受講者のうち 200 人を対象に市民のインターネット環境の調査及びオンライン講座の受講希望等について意識調査を行い、現状把握を行った。また、講座開講の手順をまとめ提示する等、オンライン形式の講座開講に向けた土台作りにも寄与した。
課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者ならびに主催者の満足度を維持するため、主催者、受講者双方の意見を参考にして、より円滑な運営を行う。</li> <li>・新しい形態の講座の実施について、円滑な運営に努める。</li> <li>・各校の特色を生かした良質の講座をより多くの地域市民に知らしめるた</li> </ul>

	めに、本会 HP や広報物を活用し、引き続き受講者の拡大に努める。
会 議 等	－
収 支	市民大学委託事業費の全額を充当
実施の様子	－

企画講座実績（コロナウイルス感染の影響により中止）

	講座名	主催校
1	自由に生きるということー小さな物語から世界へー	相模女子大学
2	映画『ひろしま』とフランス	相模女子大学
3	言葉と文化ー挨拶言葉で読み取れる韓国文化と日本の文化を知る	相模女子大学
4	近代日本のはやり歌を知る・歌うⅢーはやり歌に見る近代化への風刺と受容	相模女子大学
5	最期まで口から食べることを目指して	相模女子大学
6	野生動物と共に生きる	麻布大学
7	臨床検査って何？	麻布大学
8	生き甲斐と死に甲斐のある生き方ー人生 100 年時代におけるひとつの死生観ー	和泉短期大学
9	大人のための絵本・児童文学講座	和泉短期大学
10	女子美術大学美術館コレクションを知る	女子美術大学
11	健康で豊かな人生のための基礎知識	北里大学
12	暮らしに役立つ医療の知識	北里大学
13	サイエンスとテクノロジーにおけるセンシングとシンセシス	青山学院大学
14	共生と社会的課題	青山学院大学
15	AI(人工知能)の普及と私たちの生活ー社会情報学部の視点からー	青山学院大学
16	「コミュニティ」を考える	青山学院大学
17	あまり知られていない文字とデザインの歴史ーあるいは、世代を超えて普遍性をめざす営みとしてのグラフィックデザイン	多摩美術大学
18	労働運動と社会運動の接点をみる：労働組合は公害反対運動とどのような関係をもったか	法政大学
19	Active English in the News (中級) (前・後期)	サレジオ工業高等専門学校
20	おわら風の盆への誘い	和光大学
21	座間、相模原とその近隣地域について学ぶ	座間市

ウ オーサーズカフェ (指定管理事業)

さまざまなジャンルから話題性の高いトピックを取り上げてトーク形式で解説する参加自由なカフェ形式のセミナーを提供した。

実 績	
期 間	通年 (隔週土曜日 14:00~15:00)
講 座 数	13 講座 (11 講座は再度企画したがコロナ禍による臨時休館等により中止)
定 員 数 等	定員数: 定員数は特に設けていない 参加者数: 223 人、平均参加者数: 17.2 人 (コロナ禍前の半分以下)
内 容	健康、歴史、文学、芸術、自然科学、環境など、多彩なテーマについて第一線で活躍している大学教授や各界の専門家による講座を開講した。
自 己 評 価	ユニコムプラザさがみはらの特徴的なにぎわいの空間として市民に認知されており、学びのきっかけづくり、市民と大学との接点の場となっている。再開後に隔週を毎週に変更して実施したが、再度の閉館により、講座数、参加者数は目標の半分以下となったので「C」と評価する。
課題と改善策	ロビーでの密集を避け、検温、換気などの感染防止対策を行う。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当
実施の様子	

	講座名	開催日	参加者数
1	「アートクラフト春の市」を10倍楽しむ歩き方	4月11日	中止
2	明日4/26は『春の市!』楽しく予習して完全制覇!?	4月25日	中止
3	「アートクラフト春の市」を10倍たのしむ歩き方	5月9日	中止
4	ロシア美術の知られざる魅力について	5月23日	中止
5	誰もが、育児も仕事もやりたいこともかなえられる社会に向けて、今、私たちが出来ること	6月13日	中止
6	地域に貢献する人財育成～津久井高校福祉科から発信～	6月27日	中止
7	作品鑑賞の魅力を探る 3	9月12日	18人
8	身近な川の環境 ～川の水質から考える人のくらし～	9月26日	14人
9	誰もが、育児も仕事もやりたいこともかなえられる社会に向けて、今、私たちが出来ること	10月3日	6人
10	地域に貢献する人財育成～津久井高校福祉科から発信～	10月10日	10人
11	食品におけるアレルゲン物質並びに毒物(水産物・加工品)について	10月17日	16人
12	相模大野アートクラフト市を楽しもう!	10月24日	14人
13	おもてなしの心～レセプションの仕事～	11月7日	19人
14	女子美染織コレクション 原始的なデザイン アンデスの織物の魅力	11月14日	16人

15	歌人小野小町について～その虚像と実像～	11月21日	34人
16	遺贈寄附は未来へのメッセージ	11月28日	10人
17	劇・人・街を生かす	12月5日	10人
18	名曲探偵が明かす ベートーヴェン生誕250年 《第九》のヒミツ Season 6	12月12日	38人
19	「孤独」と健康～心から健康でいるために	12月19日	中止
20	外国人の雇用問題を考える！～少子高齢化社会の担い手をどうするか～	12月26日	中止
21	戦後相模原の都市化と産業・経済	1月9日	中止
22	ドローン前提社会～空を目指そう～	1月16日	中止
23	光の感動！キャンパスから街へ飛び出す	1月23日	中止
24	芸術を通じた社会貢献事業について	1月30日	中止
25	アッそうかと気づく喜び： 理科で遊ぼう会から子ども達への贈り物	2月6日	中止
26	ことばと心を育てるオノマトペ	2月13日	中止
27	家庭園芸で心と体の環境保全を！	2月20日	中止
28	体験してみませんか？音楽を使ったマインドフルネス	2月27日	中止
29	草ストローで社会問題解決へ	3月6日	中止
30	「孤独」と健康～心から健康でいるために	3月20日	中止
31	桜のはなし	3月27日	18人

#### エ ユニコムセミナー（指定管理事業）

実績なし。

#### （2） 人材育成事業

##### ア キャリア支援 4 STEP PROGRAM

これからの就職活動を迎える学生を対象に相模原市・町田市の魅力ある様々な企業との出会いの場を創出し、より明確なキャリア意識を身に着けるためのきっかけ作りとなることを目的とした取組み。

実 績	
期 間	2020年4月～2021年3月
内 容	2020年度はキャリア支援プログラムの再構築期間と位置づけ、新型コロナウイルス感染拡大の影響により日々変化するキャリア支援の動向について関連する大学・企業の担当者へのヒヤリングを随時実施した。
自 己 評 価	社会情勢に沿ったプログラムの再構築を目標に、関連するステークホルダーへの情報収集に努めた。プログラム開発には更なるニーズ調査が必要な

	ため「C」と評価する。
課題と改善策	次年度も学生・大学・地域企業のニーズ検討を行い、より時代のニーズに合ったプログラムへ企画内容を再構築する。
会議等	—
収 支	会費収入の一部を充当

#### イ 子ども社会体験推進

地域の小学生が「会社設立、事業計画書の作成、資金調達、仕入、製造、販売、決算」という起業プロセスを疑似体験するプログラム「さがみはら子どもアントレ」に実行委員会の一員として参画。

実 績	
期 間	通年
内 容	2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、プログラムは一律中止となった。
自己評価	—
課題と改善策	次年度も実行委員として参画し、子供の社会体験に寄与していく。
会議等	—
収 支	会費収入の一部を充当

#### ウ さがまちインターンシップ

学生のキャリア形成の支援として、地域産業への理解を深める、地域の特色ある企業や公共活動に取り組むNPO等の活動を知る事などを目的としたインターンシッププログラムの取り組み。

実 績	
期 間	2020年6月～2021年3月
受入先数	11団体（全プログラム中止）
参加者数	—
参加大学	—
内 容	2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予定していたインターンシッププログラムは一律中止とした。
自己評価	—
課題と改善策	次年度もコロナ禍の状況に合わせながら、学生・大学・地域企業のニーズに沿ったインターンシッププログラムの企画を図る。
収 支	会費収入の一部を充当

#### 受入予定先別実施状況

	受入先	期間	内容
1	FMさがみ	中止	コミュニティーFM局「エフエムさがみ」の協力の下、学生独自のラジオ番組制作やアナウンス業務等を体験

2	さがみはら市民活動サポートセンター	中止	センター主催イベントの企画・運營業務やセンターの広報、交流ワークショップの運營業務等を体験
3	SC 相模原	中止	チラシ作りやホームゲーム当日の試合運営補助など、プロサッカーチームにおけるスポーツマネジメント業務を体験
4	ユニコムプラザさがみはら	中止	主催イベント「まちづくりフェスタ」の企画・運営サポートや、施設管理サポート等
5	町田新産業創造センター	中止	センター主催のビジネスイベントの企画・運営補助や、その他広報業務などを体験
6	J:COM	中止	テレビ収録のアシスタントディレクターとして、実際の収録現場を体験
7	相模大野図書館	中止	貸出・レファレンス等の図書館司書業務の体験、及び図書館に対する企画のプレゼンテーションを実施
8	町田市生涯学習センター	中止	センター主催の生涯学習系イベントの運営補助やその他広報業務の体験、及びセンターに対する企画プレゼンテーションを実施
9	町田市ひなた村	中止	子どもを対象としたキャンプイベントや学習イベントの企画運営補助業務を体験
10	町田国際交流センター	中止	日本語教室やスポーツ大会等の異文化交流事業の運営補助業務を体験
11	町田市民ホール	中止	市民ホールで開催されるコンサートや落語、TV番組収録イベント等の運営補助業務を体験

#### エ さがまち学生Club

相模原・町田地域の活性化を目的とした学生によるまちづくりの取組み。主な内容は、地域活性化をテーマとした学生企画の実施、まちおこしイベントへの参画、ボランティア活動、情報取材活動・情報発信活動など多岐にわたる。

実 績	
期 間	2020年6月～2021年3月
取組企画数	15件
参加者数	加盟大学の学生24人（企画参加学生数延べ77人）
参加大学	青山学院大学、相模女子大学、女子美術大学、女子美術大学大学院、目白大学、明治学院大学、東海大学
内 容	まちづくりへの関わりを通じて青年の社会適応力の育成を目的とする。クラブに所属する学生の自主性のもと、2020年度はオンラインを活動のメインとし、様々な相模原市、町田市の地域団体と連携し、15件のまちづくり企画を実施した。
自己評価	コロナ禍においてもオンライン会議などを駆使し、今だからこそできる学生によるまちづくり活動を推進することができた。また昨年度に引き続き今年度も独自の取組みにより、各種新聞メディアにも取り上げられるなど、地域からの注目度は年々高まった。参加学生及び協働団体からの評価も高かったので「A」と評価する。

課題と改善策	コロナ禍においての学生組織体制及び付随するディレクション業務の効率化を図る。
収 支	会費収入の一部を充当
実施の様子	  

#### 活動の実績

	内容	実施月	参加者	依頼元
1	WEB 版情報誌さがまの制作	6月 ～3月	(学生) 6名	自主プログラム
2	地域ステークホルダーへのリモートインタビュー動画の制作	6月 ～2月	(学生) 2名	絵本作家 小説家など
3	ジャパンハロウィンサミット 学生プレゼンターとして登壇	10月	(学生) 1人	ジャパンハロウィンサ ミット実行委員会
4	学生×地域社会人とのリモートデ ィスカッション	10月	(学生) 4人	町田青年会議所
5	FM さがみ特別出演	12月	(学生) 4人	相模原商工会議所
6	玉川大学 SDGs オンライン特別講 義 学生が登壇	12月	(学生) 2人	玉川大学
7	町田市「ガクマチ EXPO」への参画	10月 ～3月	(学生) 6人	町田市生涯学習センタ ー
8	まこちゃん教室オンラインワーク ショップの開催	11月 ～3月	(学生) 8人	町田子ども家庭支援セ ンター
9	Club による SDGs 普及啓発企画 の実施	11月 ～3月	(学生) 24人	相模原市企画政策課
10	「町田市の未来」オンライン意見 交換会の開催	3月	(学生) 6人	町田市企画政策課
11	町田市オンラインワークショップ の開催	3月	(学生) 7人	町田市生涯学習センタ ー
12	相模原市公共施設マネジメントカ ードゲームの開発	通年	(学生) 4人	相模原市経営監理課
13	相模原市スイーツフェスティバル 実行委員会 学生委員として参画	通年	(学生) 1人	相模原市観光・シテイ プロモーション課
14	相模原市シビックプライド検討委 員会 学生委員として参画	通年	(学生) 1人	相模原市観光・シテイ プロモーション課
15	相模原駅北口周辺地区まちづくり 推進協議会 学生委員として参画	通年	(学生) 1人	相模原市相模原駅周辺 まちづくり課

オ 町田市まこちゃん教室（町田市委託事業）

町田市内のひとり親家庭等の子どもとその保護者を対象とし、日々の学習支援や課外活動・ワークショップを通し、子どもの基礎学力の定着や社会性を伸ばす無料学習塾を運営。

実績	
期 間	2020年8月～2021年3月
教室回数	（集合型）2020年8月～翌3月まで毎週火曜日実施 計32回 （派遣型）生徒・学習支援員の都合により毎週実施 計32回
開催場所	町田市健康福祉会館、生徒自宅、オンライン など
参加者数	受講生徒：小学4年生～中学2年生 51人（集合型：39人 派遣型：12人） 学習支援員：23人（桜美林大学、神奈川県立保健福祉大学、國學院大學、相模女子大学、玉川大学、法政大学、和光大学）
内 容	町田市内のひとり親家庭等の子どもとその保護者を対象とし、日々の学習支援や課外活動・ワークショップを通し、子どもの基礎学力の定着や社会性を伸ばすことを目的とする。当初は6月より事業開始の予定だったが、協議の結果、8月より事業開始となった。また1月からの緊急事態宣言期間中は全てオンラインでの授業を実施した。
自己評価	当法人として2年目の事業であったが、コロナ禍の中、感染予防対策を徹底し事業にあたり、年間を通して大きなトラブルもなく、生徒・保護者・学習支援員から高い運営評価を得ることが出来た。最終アンケート結果項目の満足度も高かったため、「A」と評価する。
課題と改善策	2019年度・2020年度に蓄積した教室運営ノウハウやアンケート結果等をまとめ、考察し、次年度の運営計画に活かす。
課外プログラム	年に2回の課外プログラムを企画・実施 12月15日 自分ポスターづくりワークショップ（協力：㈱アイワ広告） 3月2日 夢ワークショップ（協力：さがまち学生Club）
収 支	まこちゃん教室委託事業費の全額を充当
実施の様子	  

カ さがみはら地域づくり大学（指定管理事業）

協働の観点での地域活動及び市民活動を促進するために必要な知識や技術を体系的に学習する講座を開講した。

実 績	
期 間	通年
講 座 数	基礎コース5講座（必修3、選択2）、応用コース5講座（必修3、選択2）、 専門講座5講座、計15講座 ※上記の他に、開講記念学長講演1講座、公開プレ講座2講座、特別公開講座1講座の開催を予定。

定員数等	定員数：各コース・専門講座 20人、学長講演・公開プレ講座・特別公開講座 各100人 申込者数(受講予定者)：119人(延べ人数)
内容	新型コロナウイルス感染拡大の影響と臨時休館により、例年6月スタートの各コースと専門講座は9月スタートに変更して開講した。 コーディネーターズサークル交流会を2回開催した。 下記の開催を中止した。 ・4月 開講記念学長講演・受講者証交付式 ・5月 公開プレ講座 ・1月 基礎コース必修1講座・応用コース必修1講座 ・2月 修了式・受講者交流会 ・3月 特別公開講座 ・コーディネーターズサークル交流会(2回)
自己評価	申込者数がコース定員に達しない状況に加え、コロナ禍により参加者の獲得に苦労した。終盤、休館による講座の中止があったものの、ほぼ目標値に達したので「B」と評価する。
課題と改善策	より魅力ある講座にすべく、ニーズ調査に基づくターゲット別の内容に変更。また、効果的な広報にも取り組む。
収支	指定管理者事業収益の一部を充当
実施の様子	  

#### 1) 内容及び受講者数

コース		講座名	開催月	申込者数
基礎コース	必修	協働とは何か～地方分権と協働～	9月	10人
	必修	相模原を知ろう、学ぼう ※中止	1月	6人
	必修	さまざまな協働のかたち	10月	9人
	選択	市民活動のための法律入門	11月	7人
	選択	さがみはらのチカラ～シティセールスを磨く～	12月	8人
応用コース	必修	地域づくりのためのファシリテーション	9月	10人
	必修	団体運営のコツ～マネジメントから資金調達まで～ ※中止	1月	14人
	必修	情報の伝え方講座～見極めと伝える	10月	9人
	選択	アサーティブトレーニング～自分も相手も大切にするコミュニケーション～	11月	11人
	選択	子どもを育む地域力アップ講座	12月	12人
専門講座		エンターテインメントとコミュニケーション	9月	5人
		地域をサポート！ボランティア講座①	9月	4人
		地域のタカラの生かし方	10月	5人

	スポーツが支える地域の健康づくり	11月	6人
	地域をサポート！ボランティア講座②	12月	3人
合 計			119人

## 2) コーディネーターズサークル交流会

新型コロナウイルス感染への対策と臨時休館により2回を中止した。

	開催日	講座名	参加者数
第1回	2020年 9月30日(水)	今年度の交流会の実施内容の説明や活動の場の提供の準備としての活動登録票の提出	9人
第2回	2020年 11月25日(水)	サークルメンバーのスキルアップ講習会についてアンケートについて	10人
第3回	2021年 1月16日(土)	コロナ感染防止対応のため中止	-
第4回	2021年 2月27日(土)	臨時休館により中止	-

## (3) 地域発展事業

### ア 学生映像制作

映像制作を通して地域への理解を深め、また、取材、企画提案、番組構成案作成、撮影等の一連の作業を通じて、協調性や他者との関係作りに必要な能力と態度を育成する。

実 績		1) 学生情報局「さがまちバンバン」	2) CM・PR 動画制作
期間/開催日	2020年10月～2021年3月		
作品数	1) 13作品 2) 一律中止		
参加団体	1) 加盟大学の13学生団体 2) 一律中止		
内 容	<p>1) 地域の学生がTV番組制作を通して地域への理解を深めること、そして学生目線の地域映像情報に接した市民が地域の魅力を再認識することを目的とするプログラム。6大学13チームがエントリーし、感染予防対策を講じながら13作品を制作。制作された作品はさがまちHP及びYouTube等で配信した。3月に予定されていた優秀作品の選考、表彰を行う「さがまちバンバンアワード2020」は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け中止し、HP上での審査結果発表を行った。</p> <p>2) クライアントとの協議の結果、予定していたCM制作プロジェクトは一律中止とした。</p>		
自己評価	「リモート企画会議」「少人数での撮影」「自宅での編集」など各学生チームが感染予防対策を講じながらTV番組制作を進めることが出来た。また参加した学生、監修した教員、地元地域ともに好評であったため「B」と評価する。		
課題と改善策	幅広い学生参画を目指すため、広報・プロモーション方法などを再検討し、参加者の拡大に努める。		

収 支	会費収入の一部を充当		
実施の様子			

1) -① 学生情報局「さがまちバンバン」作品一覧

	作品タイトル	放送月	制作団体
1	さがまちゅーぱー	11月	女子美術大学
2	さがまちストリート	11月	女子美術大学
3	ONE DAY	12月	和光大学
4	ぶみろぐ	1月	青山学院大学
5	宇宙をかける物語	2月	青山学院大学
6	リバース	3月	相模女子大学
7	夢中	3月	玉川大学
8	森を大事に	4月	東京造形大学
9	MACHIDA	4月	東京造形大学
10	炭酸電池	4月	和光大学
11	離れていても、一緒に	5月	和光大学
12	コロナ禍の学生たち	5月	和光大学
13	天ノ弱	5月	玉川大学

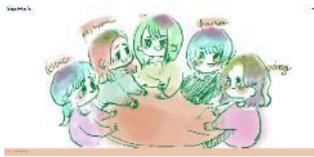
1) -② さがまちバンバンアワード2020 受賞作品

	賞タイトル	作品タイトル	制作団体
1	最優秀作品グランプリ	炭酸電池	和光大学
2	さがまち賞	離れていても、一緒に	和光大学
3	J:COM賞	リバース	相模女子大学
4	MOVIX 橋本賞	MACHIDA	東京造形大学

イ 地域情報誌制作

学生による地域情報誌制作を通して地域への理解を深め、また情報誌を手にした市民が地域のイベントや活動を知り、地域の魅力を再認識することを目的して実施した。

実 績	
期 間	2020年6月～2021年3月
参加者数	加盟大学の学生24人
参加大学	青山学院大学、相模女子大学、女子美術大学、女子美術大学大学院、目白大学、明治学院大学、東海大学

内 容	地域の学生が WEB 版地域情報誌「さがまち」26 号を約半年をかけて制作。企画会議、取材、記事制作などすべての活動をオンライン上で実施。完成した記事は公式 HP にて発信した。
自 己 評 価	オンラインによる情報誌制作を通して学生の社会適応能力の向上と情報発信による地域活性化に寄与した。掲載内容も内外から好評であったので「B」と評価する。
課題と改善策	より市民に身近な地域情報誌を目指すため、新たな配架場所や地域の協力者を獲得し、更なる地域活性化を目指す。
収 支	会費収入の一部を充当
実施の様子	  

#### 1) WEB 版 地域情報誌「さがまち」26 号の概要

配信媒体	さがまちコンソーシアム 公式 HP 内
記事タイトル	統一テーマ～シェアハピ！～ ・ハピネスな暮らし ・コロナ禍の今、あの場所で流したい音楽 ・相模大野 EVERYDAY SUNDAY 化計画 ・迷ったらお店大賞ののれんを探せ！！ ・照らした光 その裏側 ・さがまち SDG s プロジェクト

#### ウ 地域情報発信

ポータルサイト「さがまち」による情報発信事業。

実 績	
期 間	通年
HP アクセス数	25,000 件
更 新 数	66 件
内 容	ポータルサイト「さがまち」の運営を通して地域情報の発信。また各加盟校のオープンキャンパス情報を発信したほか、2020 年度より「オンライン学習情報特設サイト」をオープンし情報発信に努めた。
自 己 評 価	公益目的事業に関わる情報発信に注力し、市民の生活に密着した情報を発信した。しかし、アクセス数が目標を下回ったので「C」と評価する。
課題と改善策	SNS の連動など時代のニーズ、シーズに沿った情報発信を心掛ける。
収 支	会費収入の一部を充当
	  

## エ センター市民・大学協働フェスタ

地域・市民団体と大学が協働したまちづくりイベントを開催。

実 績		1) 市民・大学協働まちづくりフェスタ	2) ユニコムサミット
開 催 日	1) 2020年10月4日～10月30日（展示形式） 2) 2021年2月27日（一部オンライン）臨時休館により5月に延期		
参 加 者 数	1) 参加団体数：36団体、見学者160名（カウントできた者のみ） 2) なし		
内 容	1) 自治会・商店街・公民館の地域活動、市民団体・NPOの市民活動、大学の生涯学習講座や研究成果、学生の地域連携活動、企業の地域貢献活動の取組を展示する。 2) 地域・市民活動を実践する団体・個人を対象に、成功事例や課題、経験者にしかわからない隠れた問題などを紹介し、その解決方法を参加者が共有する。		
自 己 評 価	1) コロナ禍により大勢の参加者が1日に集中して開催することが難しいことから、「第8回ユニコムプラザさがみはら まちづくりフェスタ 交流展示会～日々の暮らしが楽しくなる地域活動と研究の紹介～」として、およそ1カ月間の展示会を開催した。 2) テーマを：こども・若者がコロナ禍で生き抜くために～「新しい生活」で生まれた「新しい問題」を考える～ 以上、フェスタの開催とサミットの準備を通して関連する団体の情報共有ができたので「C」と評価する。		
課題と改善策	1)、2) 共に来年度の開催に向けて日頃の活動を活発に行う。		
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当		
実施の様子	フェスタ 		サミット 
		チラシは学生が制作	チラシは学生が制作

## オ センター・市民・大学交流会

市民と大学が地域課題の解決や地域の活性化を目的とした交流、研究、対話等を行う機会を提供。

実 績	
開 催 期 間	2020年5月～2021年3月
開 催 数	3回（臨時休館により3講座中止）
参 加 者 数	21人
内 容	個人・団体が大学と交流する場の提供。「地域連携の考え方」、「大学の得意分野」「協力を要請したい分野」などの具体的なテーマを設定し、市民と大学との連携のきっかけを創出する。
自 己 評 価	具体的なテーマに基づく3回の市民・大学交流会を開催し、活発な意見交換を行ったが、参加者数が目標値の半分となったので「C」と評価する。

課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流会終了後、連携の有無と内容について追跡調査を行っており、連携に繋がる案件が出てきた。引き続きフォローしていく。</li> <li>・より幅広い世代に参加していただけるよう、テーマを工夫している。</li> </ul>
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当
実施の様子	  

	開催日	テーマ	参加者数
1	10月21日(水)	「青少年育成支援」をテーマにディスカッションしましょう	4人
2	11月29日(日)	ドクターアキヤマと一緒に楽しくて面白い科学実験で新型コロナを吹き飛ばそう	13人
3	1月27日(水)	クラゲを通して見た海の世界!	中止
4	2月24日(水)	くずりと健康	中止
5	3月21日(日)	ドクターアキヤマと一緒に楽しくて面白い科学実験で新型コロナを吹き飛ばそう	中止
6	3月24日(水)	～作品鑑賞の魅力を探る～	4人

#### カ センター・市民と大学との橋渡し

実 績	
期 間	通年
内 容	① シェアードオフィス利用者への支援 利用者交流会：9回開催（臨時休館で3回中止） ②センター利用者への支援 相談件数：102件 ③市民と大学との連携実績 28件
自 己 評 価	①利用者交流会を通じて活動状況の把握とアドバイスができた。 ②受身型の相談から提案型の相談が増え、LINEなども活用している。 ③年間を通して多種多様な橋渡しを実現し、その後もフォローしている。 以上を踏まえて「A」と評価する。
課題と改善策	テーマを決め、より実践的な自主事業を行うことでアドバイス、提案、橋渡しを継続的に実現する。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当
実施の様子	大学との連携 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>大学生向け 食材支援</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>エフエムさがみ 番組制作</p> </div> </div>

#### キ センター・情報誌発行

センター事業やセンターに係わる様々な団体の取り組みや連携に関する情報を紹介する情報誌を定期的に発行。

実績	
期間	通年
発行回数	11回/年間（5、6月号は休刊、3月に特集号を発行）
発行部数	2,500部
内容	A5版4ページ、カラー、相模原市内の約200か所に配布 センター事業の紹介、大学の活動紹介、シェアードオフィス利用者の活動紹介など、様々な取り組みや市民と大学との連携に関する有効な情報を紹介した。 また、毎月の発行に加えて3月に学生スタートアップ事業特集号を発行した。
自己評価	施設の設置主旨に鑑み、「市民と大学との連携」「施設でのイベント」について、タイムリーに情報発信できたので「A」と評価する。
課題と改善策	企業の地域連携活動としてのイベントにも注目していく。
収支	指定管理者事業収益の一部を充当

#### ク センター・団体登録

実績	
期間	通年
登録団体数	40団体
内容	定期的にセンターを利用する団体・フェスタへの出展者に対し登録を促す。 橋渡し案件として関わった団体に登録を促す。 新規5団体、終了2団体であった
自己評価	登録数は、昨年度37団体から40団体に増加したので「A」と評価する。
課題と改善策	次年度もフェスタへの出展者に対して登録を促すなど、増加に努める。
収支	指定管理者事業収益の一部を充当

#### ケ センター・ホームページ運営

市民や大学、企業・団体が行う多彩な活動を紹介する。センター事業をはじめ、センターと団体との共同事業、利用団体（利用者）が行う事業、その他の地域情報を幅広く紹介する。

実績	
期間	通年
HPアクセス数	191,346件
更新	毎日
内容	例年通り活発に掲載・更新を行ったが、臨時休館に伴う施設利用の中止、イベントの中止などが影響し目標値の3分の2程度に留まった。
自己評価	年間を通してアクセス数が減ったので「C」と評価する。
課題と改善策	より効果的な発信ができるよう、アクセス状況の分析を行う。
収支	指定管理者事業収益の一部を充当

---

## 4 収益事業

---

センターの施設等の管理運営事業（公益目的事業の推進に寄与する事業）

一般市民などがセンターの施設等を利用するに当たり、相模原市条例に定める適正な料金のもとにサービスを提供し、利用者の便宜を図ることに努めた。

- (1) シェアードオフィス運営支援（NPO や企業などが市民活動、地域貢献活動の拠点として利用するシェアードオフィス（共用貸事務所）の利用者有料支援）
- (2) 会議室等の貸し出し（セミナールーム、ミーティングルーム、AV スタジオ、実習室、情報コーナー、マルチスペースの有料貸し出し）
- (3) 備品等の貸し出し（機械、映像機材、各種ソフト、備品の有料貸し出し）
- (4) 利用者サービス（コピーサービス（有料）、無線 LAN（Wifi-Spot）（無料））

## 5 管理運営

### (1) 総会・理事会

#### ア 社員総会

	開催日	開催場所	内容
定時 社員総会	2020（令和2）年 7月8日	ユニコムプラザ さがみはら セミナールーム2	<審議事項> (1)理事の選任について (2)名誉会員の推薦について (2)2019（令和元）年度収支決算(案)について <報告事項> ・会員の入会について ・会員の退会について ・2019（令和元）平成30年度事業報告について ・2020（令和2）年度事業計画について ・2020（令和2）年度収支予算について ・諸規程の制定・改定について ・2020年度事業・組織体系について ・本店の公益目的事業の実施状況について ・ユニコムプラザさがみはらの運営状況について
社員総会 (臨時) みなし決議による	2020（令和2）年 9月30日 (社員総会の決議があったものとみなされた日)		<みなし決議の事項> (1)理事の選任の件
社員総会 (臨時) みなし決議による	2021（令和3）年 1月13日 (社員総会の決議があったものとみなされた日)		<みなし決議の事項> (1)監事の選任の件

#### イ 理事会

	開催日	開催場所	内容
第66回 理事会 (定例) 決議の省略による	2020（令和2）年 6月19日 (理事会の決議があったものとみなされた日)		<審議事項> (1)役員候補者の推薦の件 (2)委員会委員候補者の件 (3)人事の件 (4)2019年度事業報告(案)の件 (5)2019年度収支決算(案)の件 (6)社員総会の件
第67回 理事会 (臨時)	2020（令和2）年 7月8日	ユニコムプラザ さがみはら ミーティングルーム4	<審議事項> (1)役員候補者について (2)人事について (3)定時社員総会の議案及び議事進行について <報告事項>

			・退会について
第68回 理事会 (臨時)	2020（令和 2）年 7月8日	ユニコムプラザ さがみはら ミーティングル ーム4	<審議事項> (1)会長（代表理事）、副会長、業務執行理事の選定 について
第69回 理事会 (臨時)	2020（令和 2）年 9月8日	相模女子大学 会議室2	<審議事項> (1)役員候補者について (2)新規入会について (3)第六期委員会委員候補者について (4)人事について <報告事項> ・各委員会開催結果について ・予算の進捗状況と今年度の収支予測について ・業務執行状況について ・相模原市立市民・大学交流センターの管理運営に 関するモニタリングについて
第70回 理事会 (臨時)	2020（令和 2）年 12月8日	相模女子大学 会議室2	<審議事項> (1)理事の選定について (2)補充の監事候補者について (3)諸規程の改正について (4)賛助会員の新規入会について (5)人事について <報告事項> ・各委員会開催結果について ・予算の進捗状況と今年度の収支予測について ・相模原市立市民・大学交流センターの管理運営に 関するモニタリング結果について ・令和2年度第1回さがみはら地域づくり大学運 営委員会臨席報告について
第71回 理事会 (定例)	2021（令和 3）年 3月9日	相模女子大学 会議室2	<審議事項> (1)代表理事の辞任に関わる対応について (2)名誉会員候補者の推薦について (3)賛助会員の新規入会について (4)人事について (5)2021年度事業・組織体系（案）について (6)職員の給与規定について (7)2021年度事業計画(案)について (8)2021年度収支予算(案)について <報告事項> ・諸規定の改正について ・各委員会開催結果について ・予算の進捗状況について ・業務執行状況について ・2021年度社員総会・理事会・運営委員会の開 催日程について

(2) 委員会

ア 運営委員会

	開催日	開催場所	内容
第1回	2020（令和2）年 5月12日	新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発令を受けて中止（資料配布のみとした）	<報告事項> ・新規入会について ・人事について ・2020年度事業計画について ・2020年度収支予算について ・法人の運営状況について ・業務執行状況について <報告事項> ・さがまちインターンシップ参加者募集について ・さがまち学生Club参加者募集について ・学生映像制作「さがまちバンバン」エントリー状況について ・まちだ未来ビジネスアイデア・コンテストについて ・ユニコムプラザまちづくりフェスタの開催について ・公共目的事業に対する助成に係る学生団体の募集について ・2020年度 社員総会・運営委員会の開催日程について
第2回	2020（令和2）年 10月13日	ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2	<報告事項> ・賛助会員の新規入会について ・人事について ・法人の運営状況について ・業務執行状況について <報告事項> ・2020年度 さがまち本店事業について ・2020年度 ユニコムプラザさがみはらの事業について

イ プロジェクト事業委員会

①さがまちカレッジプロジェクト

	開催日	開催場所	内容
第1回	2020年8月 26日	書面による	・さがまちカレッジについて ・2020年度さがまちカレッジⅢ期講座について
第2回	2020年11月 13日	相模女子大学 茜館催事場	・チームリーダーの選任について ・2021年度さがまちカレッジについて ・2020年度さがまちカレッジⅣ期講座について
第3回	2021年2月 19日	書面による	・2021年度さがまちカレッジ講座企画提案について

②キャリア支援プロジェクト

開催実績なし

## 附属明細書

事業における重要な事項は 2020（令和元）年度事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特にないため、当年度の附属明細書は作成しない。